

# 新体育館建設で前年比7.8%増の過去最大予算

江南市議会3月定例会は、2月23日に開会。3月17日に閉会しました。日本共産党議員団は23議案（うち請願2件）のうち、市民の利益を守る立場に立ってH29年度一般会計予算や介護保険特別会計予算など4議案に反対、19議案に賛成しました。

## 共謀罪反対の請願を市議会が否決

国民救援会尾北支部が87筆の署名を添えて提出した「共謀罪法案に反対する意見書の提出を求める請願」は、5対16の賛成少数で不採択に。請願採択に賛成は、日本共産党議員団3人とリフォームの会（社民党・民進党議員）の計5人だけでした。請願の賛成討論を、日本共産党の東よしき議員と民進党の中野議員が行いました。

## 市民の願いが実現します

（これまで、党議員団が一般質問や予算要望等で取り上げてきたことが、新年度予算に盛り込まれました。前回号以外のものを追加でお知らせします）

### ◎ 保育園の調理室にエアコン設置

調理室にエアコンがなく、安全衛生上問題があった草井、古北保育園など5園に設置されます。しかし9保育園が未設置で残されるため、ひきつづき早期設置を求めます。

### ◎ 全ての公民館、学供に Wi-fi つき自販機設置

施設利用者は無料で Wi-fi を使用できるようになります。

### ◎ 中軽度難聴児への補聴器助成

森ケイコ議員の一般質問で、愛知県が新年度から実施する中軽度難聴児への補聴器購入助成を、江南市も県に合わせ新年度から実施すると答弁がありました。（これは、日本共産党の鷲野県議が県議会に取りあげ実現したものです）

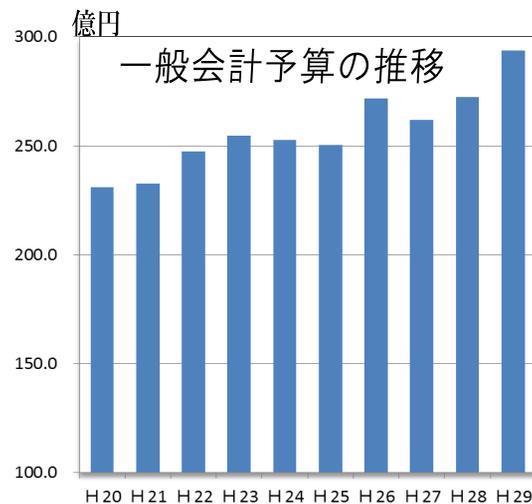
### ◎ 就学援助の入学準備金の額を倍増

国の新年度予算で「要保護世帯」への就学援助の入学準備金の補助単価が倍増されました。実際に必要な費用と比べ少ないと、日本共産党の田村智子参院議員が増額を要求してきた成果です。これを受け森議員が一般質問で、準要保護世帯の単価も市として増額するよう求めたところ、「国予算を見て検討する」との答弁が得られました。



新年度予算では、来年5月開館予定の新体育館建設工事に28億8千万円を計上。そのための新たな起債（借金）だけで18億8千万円も発行。予算総額は過去最大規模に膨れ上がりました。他事業へしわ寄せが及んでいるおそれがあります。

どう思う？



## 新体育館の命名権を企業に売る (ネーミングライツ)

江南市は新体育館の完成に合わせ、収入確保のため体育館の命名権を、希望する企業に5年程度の契約で売る予定で、その手続きの予算も計上されました。江南市の施設では初めての試み。

名古屋市民会館は、現在「日本特殊陶業市民会館」と呼んでいますが、以前は「中京大学文化市民会館」でした。ネーミングライツの契約期間が終了することに名称が変わるため、こんなことが起こります。市民の税金で建設した市民の施設に企業名が掲げられることとなります。

## 布袋駅名古屋方面高架化が延期



布袋駅鉄道高架化工事がまた予定より遅れることが分かりました。3月末までに名古屋方面の高架化工事が完成し、4月1日から供用開始予定でしたが、名鉄側発表では軌道と電路工事の遅れのため、名古屋方面が高架上に切り替わるのは、29年度上半期になる見込みです。

このため江南市が駅構内に設置する名古屋方面用エスカレーターの維持管理費2月、3月分101万2千円が減額補正となりました。

## 布袋駅東地区を複合公共施設で活性化？

市は布袋駅東側に広がる約0.9haの工場跡地(左写真)などを買い取り、民間の資金や技術力、経営力を活用するPFI手法で複合公共施設を整備しようと、約1000万円かけて昨年秋からコンサルタントに委託し調査中。3月末の全員協議会に、委託結果が報告される予定です。

市は鉄道高架化事業によって、布袋駅西側と東側を一体的に開発し新たな賑わいをつくりたいと意気込み、官民連携の複合公共施設に、子育て支援センターや子ども図書館、布袋支所、保健センターなどの機能を集約したい方向です。

しかし布袋駅の乗降客数は江南駅の1/3程度しかない上、巨費を投じて土地区画整理事業を実施した駅西地区も、賑わいとは程遠い結果に…。車中心の社会にどっぷりつかった中では、駅前に賑わいを取り戻すのは容易なことではありません。